

別紙 1

指定工場等の概要

業種					
日本標準分類 に よ る	大分類		中分類		
	小分類		細分類		
創業					
立地条件	用途地域		1種低層 1種住 工業	2種低層 2種住 工専	
			1種中高層 準住	2種中高層 近商 商業	
	規制区域	騒音	第1種	第2種	第3種 第4種
		振動	第1種		第2種
悪臭		一般		順応	
規模	資本金：		千円	従業員数：	
	敷地面積：		m <sup>2</sup>	建築面積：	
建物の配置		別図のとおり		備考	
建物の名称					
建物の高さ(m)					
構造・階数					
建築面積(m <sup>2</sup> )					
床面積(m <sup>2</sup> )					
建物内の機械等					
排水の放流先		公共下水道	水路		河川
			海域	その他( )	

別紙 2-1

1 ばい煙 及び 粉じん に 係るもの

(1) ばい煙発生施設 の 構造等

工場等 における 施設番号			
名 称 及 び 型 式			
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
規          模	伝 熱 面 積 (m <sup>2</sup> )		
	燃 料 の 燃 焼 能 力 (重油換算 ℓ/h)		
	原 料 の 処 理 能 力 (t/h)		
	火格子面積 又は 羽口断面積 (m <sup>2</sup> )		
	変 圧 器 の 定 格 容 量 (KVA)		
	触媒に付着する 炭素の燃焼能力 (kg/h)		
	焼 却 能 力 (kg/h)		
	乾 燥 施 設 の 容 量 (m <sup>2</sup> )		
	電 流 の 容 量 (KA)		
	ポ ン プ の 動 力 (KW)		
合 成 ・ 漂 白 ・ 濃 縮 能 力 (kg/h)			

備考 1 設置届出の場合には 着手予定年月日 及び 使用開始予定年月日 の 欄に、使用届出の場合には 設置年月日 の 欄に、変更届出 の 場合には 設置予定年月日、 着手予定年月日 及び 使用開始予定年月日 の 欄に それぞれ記載すること。

2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令 別表第1の中欄に 掲げる施設の当該下欄に 規定する項目について 記載すること。

3 ばい煙発生施設 の 構造概要図を 添付すること。 概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格 A4 の 大きさに縮小したもの 又は 既存図面等を用いること。

別紙2-2

(2) ばい煙発生施設の使用及び管理の方法

工場等における施設番号							
使用状況	1日の使用時間及び 月使用日数等	時間/回	時~ 回/日	時 回/日	時間/回	時~ 回/日	時 回/日
	季節変動						
原材料 (ばい煙の発生に 影響のあるものに 限る。)	種類						
	使用割合						
	原材料中の成分割合(%)	硫黄分 カドミウム分	鉛分 弗素分		硫黄分 カドミウム分	鉛分 弗素分	
	1日の使用量						
燃料 又は 電力	種類						
	燃料中の成分割合(%)	灰分	硫黄分	窒素分	灰分	硫黄分	窒素分
	発熱量						
	通常の使用量						
	混焼割合						
排出ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)	湿り	最大	通常		最大	通常	
	乾き	最大	通常		最大	通常	
排出ガス温度(°C)							
排出ガス中の酸素濃度(%)							
ばい煙 の 濃度	ばいじん(g/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		最大	通常	
	硫黄酸化物(容量比ppm)	最大	通常		最大	通常	
	カドミウム及びその化合物(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		最大	通常	
	塩素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		最大	通常	
	塩化水素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		最大	通常	
	弗素、弗化水素及び弗化珪素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		最大	通常	
	鉛及びその化合物(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常		最大	通常	
	窒素酸化物(容量比ppm)	最大	通常		最大	通常	
ばい煙量	硫黄酸化物量(Nm <sup>3</sup> /h)	最大	通常		最大	通常	
参考事項							

- 備考 1 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載に当たっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とする。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合には、処理後の濃度とする。
- 4 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関及びガソリン機関については、常用又は非常用の別を明らかにすること。

別紙2-3

(3) ばい煙の処理の方法

ばい煙に係る処理施設の工場等における施設番号				
処理に係るばい煙発生施設の工場等における施設番号				
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式				
設置年月日		年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日	
処理能力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大		
		通常		
	排出ガス温度 (°C)	処理前		
		処理後		
	ばい煙濃度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
			処理後	
		硫酸化物 (容量比 ppm)	処理前	
			処理後	
		カドミウム及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
			処理後	
		塩素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
			処理後	
		塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
			処理後	
	弗素、弗化水素及び弗化珪素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
		処理後		
	鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
		処理後		
	窒素酸化物 (容量比 ppm)	処理前		
		処理後		
ばい煙量	硫酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	処理前	
			処理後	
		通常	処理前	
			処理後	
捕集効率 %	ばいじん			
	硫酸化物			
	カドミウム及びその化合物			
	塩素			
	塩化水素			
	弗素、弗化水素及び弗化珪素			
	鉛及びその化合物			
	窒素酸化物			
使用状況	一日の使用時間及び月使用日数等		時間/回 時~回/日 時/日 時間/回 時~回/日 時/日	
	季節変動			
排出口の実高さ H <sub>o</sub> (m)				
補正された排出口の高さ H <sub>e</sub> (m)				
排出速度 (m/s)				

備考 1 補正された排出口の高さH<sub>e</sub>は、大気汚染防止法施行規則 第3条 第2項の算式により算定すること。

2 ばい煙処理施設の構造図と その主要寸法を記載した概要図を添付すること。

別紙2-4

(4) 有害物質の施設の種類、構造 及び 使用の方法 並びに 有害物質の処理の方法

工場等における施設番号			
施設の種類			
名称・型式			
規模(能力)			
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日
特定施設の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日
使用の方法	原材料	種類	
		使用割合(%)	
		使用量	1時間当たり 1日当たり
	使用温度(℃)		
	製品回収率(%)		
処 理 の 方 法	発生が予想される有害物質の種類		
	発生の理由		
	処理施設の種類・名称・型式		
	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	処理前	
		処理後	
	排出ガス温度 (℃)	処理前	
		処理後	
	排出口の有害物質濃度 (ppm)	処理前	
		処理後	
	捕集効率(%)		
	排ガス集煙(集じん)方法 (又はできない理由)		
	煙突・フード等の大きさ (高さ×頂口径)		
排出速度(m/s)			
管理計器の種類			

別紙2-5

2 粉じんに係るもの

(1) 粉じんの施設の種類、構造 及び 使用の方法 並びに 粉じん処理の方法

工場等における施設番号			
施設の種類			
名称・型式			
規模(能力)			
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日
特定施設の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日
使用の方法	原材料	種類	
		使用割合(%)	
		使用量	1時間当たり 1日当たり
	使用温度(℃)		
	製品回収率(%)		
処理の方法	発生が予想される粉じんの種類		
	発生の理由		
	処理施設の種類・名称・型式		
	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	処理前	
		処理後	
	排出ガス温度 (℃)	処理前	
		処理後	
	排出口の粉じん濃度 (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前	
		処理後	
	捕集効率(%)		
	排ガス集煙(集じん)方法 (又はできない理由)		
	煙突・フード等の大きさ (高さ×頂口径)		
排出速度(m/s)			
管理計器の種類			

別紙2-6

(2) 粉じん発生施設（たい積場）の構造並びに使用及び管理の方法

工場等における施設番号				
名称・型式				
規模	面積 (m <sup>2</sup> )			
	たい積能力 (t)			
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日	
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日	
特定施設の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日	
使用 及 び 管 理 の 方 法	たい積物の種類・性状・通常 の年間延べたい積量(t/年)			
	たい積物が その中に設置さ れている建築物の概要			
	散 水	装置の種類・型式・基数		
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)		
		散水の方法		
	防じんカバーの設置状況			
	薬液 散布	薬液の種類・名称		
		装置の種類・型式・基数		
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)		
		散布の方法		
	締 固	装置の種類・型式		
		締め固め方法		
その他				

別紙2-7

(3) 粉じん発生施設（コンベア）の構造並びに使用及び管理の方法

工場等における施設番号				
名称・型式				
規模	ベルト幅 (cm)・ バケット内容積 (m <sup>3</sup> )			
	単基の長さ (m) × 基数			
	ベルト・バケットの速度 (m/分)			
	運搬能力 (t/h)			
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日	
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日	
特定施設の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日	
使用 及 び 管 理 の 方 法	運搬物の種類・運搬物の性状 ・通常の月間運搬量 (t/月)			
	コンベアがその中に設置 されている建築物の概要			
	集塵機	集塵機の種類・型式・基数		
		集じん機の効率 (%)		
		送風機の原動機出力		
	散水	装置の種類・型式・基数		
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)		
		処理量当たり散水量 (ℓ/t)		
	防じんカバーの設置状況			
	その他			

別紙2-8

(4) 粉じん発生施設（粉砕機、摩砕機、ふるい）の構造並びに使用及び管理の方法

工場等における施設番号				
名称・型式				
規模	原動機の定格出力 (KW)			
	処理能力 (t/h)			
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日	
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日	
特定施設の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日	
使用 及 び 管 理 の 方 法	処理対象物の種類・通常の月間処理量 (t/月)			
	粉砕機・摩砕機・ふるいがその中に設置されている建築物の概要			
	集塵機	集塵機の種類・型式・基数		
		集じん機の効率 (%)		
		送風機の原動機出力		
	散水	装置の種類・型式・基数		
		装置の能力 (m <sup>3</sup> /h)		
		処理量当たり散水量 (ℓ/t)		
	防じんカバーの設置状況			
	その他			

別紙 2-9

(5) 石綿粉じん発生施設の種類、構造、使用の方法 並びに 石綿粉じんの処理 及び 飛散防止の方法

工場等における施設番号			
施設の種類			
名称・型式			
規模	原動機の定格出力 (KW)		
	処理能力 (t/h)		
工事の着手年月日		年 月 日	年 月 日
工事の完成年月日		年 月 日	年 月 日
特定施設の使用開始年月日		年 月 日	年 月 日
使用の方法	使用状況	使用工程	
		1日の使用時間・月間使用日数	
		季節変動	
	原材料の種類	原材料の種類	
		1日の使用量・月間の使用量 (kg)	
		原材料中の成分割合	
石綿粉じんの処理及び飛散防止の方法	解綿用機械等がその中に設置されている建築物の概要		
	処理施設の種類・型式・基数		
	集じん機	集じん機の効率 (%)	
		捕集集じん取出方法	
		送風機の原動機出力 (KW)	
		送風機の送風量 (Nm <sup>3</sup> /h)	
		排出口の高さ (m)	
		排出口から敷地境界線までの距離	
	散水	装置の種類・型式・基数	
		散水の方法	
	清掃のための装置の種類・基数		
	防じんカバーの設置状況		
	その他		

別紙2—10

3 汚水に係るもの

(1) 汚水排出施設の構造等

工場等における施設番号		
施設の種類		
名称及び型式		
構造		
主要寸法		
能力		
施設・関連主要機械・装置の配置	別添図面のとおり	別添図面のとおり
設置年月日	年 月 日	年 月 日
着手予定年月日	年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日	年 月 日	年 月 日
その他		

備考 1 設置届出の場合には 着手予定年月日 及び 使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には 設置年月日の欄に、変更届出の場合には 設置予定年月日、着手予定年月日 及び 使用開始予定年月日の欄に それぞれ記載すること。

2 規模の欄には、水質汚濁防止法施行令 別表第1の中欄に掲げる 施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。

3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格 A4 の大きさに縮小したもの 又は 既存図面等を用いること。

## (2) 汚水排出施設の使用状況

工場等における施設番号					
施設の設置場所		別添図面のとおり	別添図面のとおり		
施設の操業系統		別添図面のとおり	別添図面のとおり		
施設の使用時間間隔・ 1日当たりの使用時間					
使用の季節内変動の概要					
原材料の種類・使用方法・ 1日当たりの使用量					
特定施設等 から 排出される 汚水の 汚染状態	pH	通常	最大	通常	最大
	BOD(mg/ℓ)	通常	最大	通常	最大
	COD(mg/ℓ)	通常	最大	通常	最大
	SS(mg/ℓ)	通常	最大	通常	最大
		通常	最大	通常	最大
		通常	最大	通常	最大
特定施設等から排出される 汚水の量 ( m <sup>3</sup> / 日 )		通常	最大	通常	最大
その他					

別紙2-12

(3) 汚水の処理の方法

汚水施設施設の名称					
汚水処理施設の設置場所		別添図面のとおり			
汚水処理施設の工事の着手年月日		年	月 日		
汚水処理施設の工事の完成年月日		年	月 日		
汚水処理施設の使用開始年月日		年	月 日		
汚水処理施設の種類					
汚水処理施設の形式					
汚水処理施設の主要寸法					
汚水処理施設の能力					
汚水の処理方法					
汚水の処理系統					
汚水の集水・導水方法					
汚水処理施設の使用時間間隔・1日当たりの使用時間量					
使用の季節的変動の概要					
汚水の中和・凝集・酸化の用途別薬剤の1日当たりの使用量					
処理前・後の 汚水の汚染状 態	処理前・後の区分	処理前		処理後	
	pH	通常	最大	通常	最大
	BOD (mg/ℓ)	通常	最大	通常	最大
	COD (mg/ℓ)	通常	最大	通常	最大
	SS (mg/ℓ)	通常	最大	通常	最大
		通常	最大	通常	最大
		通常	最大	通常	最大
処理前・後の汚水の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常	最大	通常	最大
処理による残さの種類・月間の種類別生成量・処理方法					
排出方法 (排水口の位置・排出口の数・排出先・最終放流先)		別添図面のとおり			
その他の					



別紙2-14

(5) 用水及び排水の系統

用水及び排水の系統		別添 図面のとおり						
用途別 用水量	取水 (m <sup>3</sup> /日)	A	B	C	D	E	F	計
	用水 (m <sup>3</sup> /日)	上水道	工業用 水道	地下水	河川水	海水	その他	
原料用水								
洗浄用水								
冷却用水								
生活用水								
その他								
計								
用水使用量の 季節変動の 概要								

注 循環使用水については、内数で括弧書きしてください。

別紙2-15

4 騒音・振動に係るもの

(1) 騒音（振動）の発生施設の種類、構造、使用及び管理の方法並びに騒音（振動）の防止の方法

施設の種類	型式	公称能力	数	時～時	時間／回	回／日・日／月
工事の着手年月日 年 月 日		工事の完成年月日 年 月 日		特定施設等の使用開始年月日 年 月 日		
騒音（振動）の防止の方法						
規制基準に定める騒音に関する地域区分の別				第1種	第2種	第3種 第4種
規制基準に定める振動に関する地域区分の別				第1種	第2種	



別紙2-17

5 悪臭に係るもの

悪臭の施設の 種類、構造、使用の方法 及び 悪臭の処理の方法

工場等における施設番号				
施設の 種類				
名称 及び 型式				
規模 (能力・面積)				
工事の着手年月日			年 月 日	年 月 日
工事の完成年月日			年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日			年 月 日	年 月 日
使用の方法	原料の種類・使用量 (貯蔵物の種類・貯蔵量)			
	製品名・製造量			
処 理 の 方 法	建屋の構造			
	集気方法			
	処理施設の種類・名称・型式			
	排出ガス量	処理前		
		処理後		
	排出ガス温度 (°C)	処理前		
		処理後		
	排出ガス中の 悪臭物質 濃度 (ppm)	アンモニア	処理前	
			処理後	
			処理前	
処理後				
排出口の高さ (m)				
備 考				

ばい煙等の排出状況

ばい煙等の種類		排出口濃度	敷地境界濃度	最大着地濃度	最大着地距離
硫黄酸化物		ppm	ppm	ppm	m
窒素酸化物		ppm	ppm	ppm	m
有害 ・ 悪臭 物質 名		ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	m
		ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	m
		ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	m
		ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	m
		ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	m
		ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	m
		ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	m
		ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	m
		ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	m
		ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	m
		ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	ppm・mg/n <sup>3</sup>	m

ばい煙等の種類	発生源(1 m)	距離減衰等	敷地境界	境界までの距離
騒音	dB	dB	dB	m
振動	dB	dB	dB	m

数値については、別添計算書のとおり

別紙3

産業廃棄物の種類、量及び処理の方法

産業廃棄物の種類				
発生量 (t、m <sup>3</sup> /月)				
発生場所				
保管場所		別図のとおり	別図のとおり	別図のとおり
処理の方法		自社 委託	自社 委託	自社 委託
自社 処理 の 場合	処理方法	焼却 脱水 破碎 固化	焼却 脱水 破碎 固化	焼却 脱水 破碎 固化
	処理能力			
	処理後の量			
	処分方法	自社 委託	自社 委託	自社 委託
委託 処理 の 場合	収集運搬業者			
	許可番号			
	処理業者			
	許可番号			
再利 用の 場合	再利用等の有無 (有償・無償)	有 無 有償 無償	有 無 有償 無償	有 無 有償 無償
	再利用先			
	再利用方法			
備考		許可証の写しは 別添のとおり		

注 特別管理廃棄物の場合は、備考欄に記入してください。